

## 解答

- 一 補給 2 業績 3 大群 4 所属 5 任(せる) 6 ふる(う)  
 7 きょうちゅう 8 せいさく 9 あやつ(る) 10 うけたまわ(る)

二 1 エ 2 イ

三 問一 ① エ ② イ ③ オ  
 問二 A 後先 B 残念

四

一 ウ、エ  
 二 イ、オ  
 三 ア

五

問一 植物状態の患者さん達は、この世のすべてのものに無関心でなにもわからないように見えたから。  
 問二 初め…生きて 終わり…ごと

問三 ウ

問四 エ

問五 (一)何かを感じてということ。

問六 ア

問七 看護婦さんたちは患者さん達が何かを感じていると信じて世話する一方、患者さん達からは何かに応えるような反応をもらえないから。

六

問一 彼がそ

問二 奇跡

問三 この広い世界、果てしない宇宙の中で、愛し合える愛犬と出会ったことが奇跡であり、そこにいるだけでありがたいということ。

問四 初め…何か大いな 終わり…大きな存在

問五 エ

問六 何かしてもらった時のありがとうは普通に出てくるが、当たり前なことへのありがとうは存在することへの感謝、奇跡に対する驚きの感情が基礎にあり気づきにくいという違い。

問七 ア、エ

## 五 解説

問七 演奏を始める前に、婦長さんが患者さん達の説明を具体的にしています。そこから看護婦さんたちが何かを感じていると信じていること、患者さん達が反応していることなどを読み取ってまとめます。

問八 本文の中盤に、この病院は治療する場所ではないといった内容が記述されています。また最後の一文には、「なんだか大きな教会みたいに見えたっけ」とあります。教会の仕事や役割についてふさわしいものを考えてみても、選択肢エが不適切であることがわかります。

六

問三 問題文の指示通り(二)段落の内容から、彼(愛犬)についてその存在が奇跡であることに着目しながらまとめます。

問六 冒頭に何かしてもらった時の「ありがとう」と、あたりまえなことへの「ありがとう」についての記述がありません。